

## Convi.BASE® (コンビベース) Ver.7.4 リリースノート

「物品管理クラウドサービス Convi.BASE (コンビベース)」の最新バージョン「Convi.BASE Ver.7.4」をリリースする運びとなりました。

今回のバージョンアップでは、関連するシステム間の相互運用性を高めるために「API 機能の拡充」を行いました。また「年月日表示における和暦対応」など、お客様よりお寄せいただいた機能改善・機能追加のご要望に対応いたしました。

新しいコンビベースをぜひご活用ください。主なリリース内容は下記の通りです。

### 記

## 1. 機能追加

### 1-1. API 機能の拡充 (API Ver.2) 【基本機能】 (※ API Ver.1 は継続してご利用いただけます)

#### ① アクセストークンによる認証の追加

- ◆ アクセストークンによる認証方法を追加しました。
- ◆ コンビベース「アカウント」機能からアクセストークンを発行します。(アクセストークンはセキュリティ上、再表示できません。ご注意ください)
- ◆ アカウントの発行・削除はログに記録されます。
- ◆ API Ver.1 のパスワード認証は引き続きご利用いただけます。

#### ② IP フィルタリング機能の追加

- ◆ 特定の IP アドレスからのみ API 接続するためのフィルタリング機能を追加しました。(IP フィルタリングの設定はネットレックスにて実施させていただきます)

#### ③ API コマンドの拡充ほか

- ◆ ビュー情報操作の拡充 (ビュー一覧の取得、管理項目情報の取得、件数の取得など)
- ◆ ビュー内データ操作の拡充 (添付ファイルの取得・登録、除却・廃棄フォルダへの移動・復元など)
- ◆ 選択肢操作の追加 (選択肢一覧の取得、選択肢内データの取得)
- ◆ 棚卸し操作の拡充 (棚卸し対象への設定・除外、実施状況の閲覧など)
- ◆ レコード取得件数の拡張 (1 回の呼び出し件数を 10 件から 100 件に拡張)  
(個別設定している場合は設定値を優先)

### 1-2. 和暦表示への対応 【基本機能】

- ◆ タイムスタンプ型の項目に和暦表示を設定できるようになりました。
  - ・ 内部データは西暦で管理されます。
  - ・ 和暦設定された項目は「一覧画面」「詳細情報画面」「ビューを印刷」にて和暦表示されます。

表示フォーマット GGGGyy年MM月dd日	種別 選択肢	制約	管理部門	取得日
初期値	桁数		ベース 総務部	平成14年10月01日
入力フォーマット			ベース 総務部	令和02年11月20日
			ベース 総務部	平成21年06月01日

表示フォーマット および データ表示の例

### 1-3. テーブル・ビュー名称の重複制御の追加 【基本機能】

- ◆ 同一アプリケーションにおいて同名のテーブル・ビューの作成ができないようにしました。(Ver.7.4以降でのテーブル・ビュー新規作成・名称変更分が対象)
- ◆ 異なるアプリケーション間では同名のテーブル・ビューを作成できるようにしました。(メンバーテーブルおよびメンバーテーブルから派生したビューは全アプリケーション共通のため例外)

#### ※ LOOKUP 関数における参照先について

- ◆ 前バージョンまでは同一アプリケーション内でのテーブルの名称重複が許可されていました。このためLOOKUP 関数にて想定外のテーブル・ビューを参照してしまう可能性がありました。本機能追加により、LOOKUP 関数における参照先テーブル・ビューが明確化されます。
- ◆ LOOKUP の参照先は同一アプリケーションのテーブル・ビューが対象です。ただしメンバーテーブルおよびメンバーテーブルから派生したビューは全アプリケーション共通です。このため、LOOKUP 参照先に指定した場合、他アプリケーションに同一名称のテーブル・ビューが存在した場合は想定外のビューを参照する可能性があります。このため、メンバーテーブルを参照する場合は全アプリケーションで一意となるようにテーブル・ビュー名を指定してください。

## 2. 機能修正・改善

### ① タイムスタンプ型の表示改善 【基本機能】

- ◆ タイムスタンプ型項目の表示フォーマットに「yyyyMMdd」と指定するとビュー画面表示が想定とは異なる値となる不具合を修正しました。

### ② 計算式の動作改善 【基本機能】

- ◆ ビューから棚卸しを完了する際、該当ビューに含まれない項目に指定されている計算式が動作しない不具合を修正しました。

### ③ 結合ビュー表示権限の見直し 【基本機能】

- ◆ 「現在の棚卸しを取得」権限を持たないユーザーも結合ビューを表示できるように修正しました。

### ④ 結合ビューをもとにしたビュー作成の制限 【基本機能】

- ◆ 結合ビューではソートキーとなる管理番号を持たないビューを作成することが可能です。このためデータのソート順やエクスポートにおいて動作が不安定になる可能性がありました。
- ◆ この問題を解決するために、結合ビューをもとにした新規ビューの作成は行えないように変更しました。
- ◆ なお、すでに存在する結合ビューから作成したビューのご利用および名称や項目定義変更は可能です。

### ⑤ 一品一葉帳票オプションの見直し 【オプション機能】

- ◆ バーコードの誤読防止のため出力されるバーコードの解像度を 72dpi から 300dpi に変更しました。

### ⑥ 一覧帳票オプション・階層バーコード帳票オプションの見直し 【オプション機能】

- ◆ バーコードの誤読防止のため出力されるバーコードの解像度を 72dpi から 300dpi に変更しました。
- ◆ 画像ファイルのアスペクト比維持に対応しました。(画像は左寄せ)
- ◆ 添付ファイルが画像ファイルではない場合、ファイル名を出力するようにしました。
- ◆ データソート時にバーコード・画像ファイルが追従するようにしました。(フィルターを実施すると、フィルター範囲を外れた画像は欄外に重なって残ります)
- ◆ バーコードの高さ・位置が不一致となる不具合を修正しました。
- ◆ QR コードのクワイエットゾーンを維持するようにしました。

既存ユーザー様へのバージョンアップ適用スケジュールは、あらためてご連絡いたします。

本件に関するお問い合わせは、担当営業または下記連絡先までお問い合わせください。

株式会社ネットレックス ソリューション営業部 マーケティンググループ

TEL : 03-5643-6743, Mail : info@netreqs.co.jp

以上